

### 大阪労連が自主支援する



大阪市長選挙  
柳本あきら氏

#### 略歴

大阪市西成区生まれ。41歳。大阪教育大学付属高校卒、京都大学法学部卒、関西電力勤務、大阪市議5期。自民党大阪市議団幹事長など歴任。



大阪府知事選挙  
くりはら貴子氏

#### 略歴

豊中市生まれ。53歳。大阪府立北野高校卒、大阪大学経済学部卒、公認会計士、豊中市議1期、現在大阪府議2期(自民党府議団政調会長)。



住民投票勝利に向け決起した大阪メーデー

## 府民の声で動く まともな政治へ

# 「オール大阪」の共同で 経済・くらし破壊の政治を終わらせよう

### 「ダブル選挙」での 「自主的支援」を決定

大阪労連は、橋下維新の府市政の7年余、その「独裁政治」を許さずたたかってきました。今回の「ダブル選挙」について、これまでのたたかいの経験と意義をふまえ、明確に民主大阪府政をつくる会・大阪市をよくする会に結集し、「橋下維新政治を終わらせるため」に、自主的に、府知事選は「くりはら貴子」氏・大阪市長選は「柳本あきら」氏の当選のために奮闘することを第2回幹事会で決定しました。組織の総力を挙げて、府下各地で共同のたたかいを広げ「維新政治を終わらせよう」とよびかけています。

### 大阪労連としての 「ダブル選挙」の位置づけ

この「ダブル選挙」は、①憲法と民主主義を破壊する橋下維新政治に終止符を打ち、②まともな自治体としての大阪を取り戻し、③労働者と住民への権利侵害をやめさせると共に、④安倍政権との「改憲タッグ」を断ち切るたたかいです。また、住民共同の力で勝利することは、安倍暴走政治にストップをかけ、日本の民主主義を守るたかいに直結するたたかいでもあります。

### この7年あまりをふりかえって

橋下維新の会によるこの7年余の府市政は、くらし・福祉施策はバツサリ削減、「なんでも民営化」で公立施設の一方的な統廃合を強行、「公募」区長や校長では問題

ら。労働の実態は、どの指標をみても全国平均に遠く及ばない状況となっています。これらに対して、さまざまな分野・地域で橋下維新政治に反対し、住民の切実な声にもとづく政治への転換を求める共同の運動が広がっています。

### 大阪労連は「独裁政治」を許さない

労働者・労働組合に対しては、組合事務所の方的な撤去通告や思想調査アンケートをはじめとした様々な権利侵害・不当労働行為を重ね、そのほとんどが大阪地裁や大阪府労働委員会でも断罪されました。最高裁での争いとなっている組合事務所強制撤去については、もはや大阪だけの問題で

### 勝利のために全力で奮闘する

しかし橋下維新の会はこの「ダブル選挙」で、否決された「大阪都構想」を再び持ち出し、

さらに「過去に戻すか、前に進めるか」と、またもやウンとペテンで「起死回生」をたくらんでいます。

求められていることは、もちろん過去に戻すことではありません。前に進めるため「橋下維新政治を終わらせよう」、住民の声に耳を傾けるあたりまえの政治に転換していくことです。

大阪労連は、職場のすべての労働者との対話をすすめるよう、地域に出て旺盛に訴えよう、投票日には必ず投票に行こう、と、自主的に勝利のために奮闘することをよびかけています。



# 必ず投票に行きましょう